

学校だより

明治3年3月3日創立

立川市立第一小学校

校長 神田 恭司



〈令和8年1月30日発行〉

【学校教育目標】

- ◎ 自分で考え 行動する子
- 心豊かで 思いやりのある子
- 体をきたえ 元気な子

コミュニティ・スクール「家庭・地域とともに歩む教育活動の推進」

〒190-0023 立川市柴崎町2丁目20番3号
TEL 042-523-4428
042-522-2114 (あおぞら学級)
FAX 042-529-0840
URL <https://www.tachikawa-edu.jp/es01/>



「ようこそ先輩 ～一小から世界へ～」 中島佑気ジョセフ選手 特別授業

校長 神田 恭司

「目標をもって地道に一步ずつ頑張ることが大事!」

令和8年1月23日(金)第一小学校の卒業生であり、アスリートである中島佑気ジョセフ選手(東京2025世界陸上男子400m決勝において日本史上最高の6位入賞富士通陸上競技部所属)が、全校児童を対象に体育館で特別授業を実施してくださいました。



特別授業の前には、「市民荣誉表彰式」が行われ、酒井大史市長から表彰状が授与されました。中島選手は、「競技をしていてたくさんの方から応援いただきますが、地元の方々に応援していただける選手になるのが一つの目標でもありました。こういった表彰をいただくというのは本当に光栄なことだと思います。ありがとうございます。」とコメントしていました。

特別授業では、子どもたちの間を走るデモンストレーションで「せっかくなら一緒に」と、代表2人の子どもと一緒に世界の走りを披露してくださいました。子どもたちはもちろん、教職員、ご来校いただいた保護者、会場全員の心をつかんでいました。

その後、代表児童の質問に丁寧に答えてくださいました。「小学生の時にライバルはいましたか?」の質問には、「小、中の親友がライバル。彼が速くて勝てなかったので、400mをやりました。彼のおかげですし、きつい練習も絶対に負けないぞ、と頑張れました。」などと答えていました。

また、卒業式の壇上で決意を、お腹に力を込めて、「陸上で東京オリンピックに出ます。」と宣言したことや卒業文集には、陸上短距離で金メダルを取ると書いたことを教えてくれました。そして、「トントン拍子に速くなったのではなく、負けもケガもありました。絶対に夢をあきらめず、叶えられる力があると思い、困難に負けず、地道に一步ずつ頑張ることが大事です。頑張っていればいつか良いことがある、と覚えていただけたら嬉しいです」と伝えてくださいました。子どもたちは、真剣なまなざしで耳を傾け、



受け止めていました。一小の卒業生の姿は、輝いていて、とても貴重な機会となりました。

今月も、寒さに応じた服装や休養にも配慮しながら、安全・安心な教育活動に努めてまいります。子どもたちが安心して学び、伸びていける学校づくりを進めてまいります。ご理解、ご協力よろしくお願いします。